



2026年2月19日

各 位

会 社 名 日華化学株式会社  
代表者名 代表取締役社長 江守 康昌  
(コード番号 4463 東証スタンダード・名証プレミア)  
問合せ先 取締役執行役員 管理部門長  
澤崎 祥也  
(TEL 0776-24-0213)

## 中期経営計画「INNOVATION30」全体補足説明資料公開に関するお知らせ

この度、日華化学グループは2030年度を最終年度とする中期経営計画「INNOVATION30」（2026～2030年）の全体補足説明資料を公開いたしましたのでお知らせいたします。本資料は、2026年2月13日公開の「中期経営計画策定に関するお知らせ」にて発表している内容の詳細を説明するものであります。

以上

(注) 当資料に記載されている計画及び目標等の将来に関する記述は、すべて発表日時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、経済情勢の変動等様々な不確定要因により、将来に関する記述とは異なる可能性があります。

# 中期経営計画 「INNOVATION30」

2026年～2030年

日華化学株式会社

東証スタンダード:4463

2026年2月19日

# 内容

01

---

前中期経営計画  
「 INNOVATION25 」振り返り

02

---

新中期経営計画  
「 INNOVATION30 」

03

Appendix

01

前中期経営計画  
「INNOVATION25」振り返り

## 2025年度 業績サマリー

- 「INNOVATION25」最終年度は、**売上高・営業利益ともに過去最高**を更新
- 引き続き取り組むべき課題も残るが、**高い目標へのチャレンジで大きな成長**を実現

	2022年度 実績	2025年度 実績	INNOVATION25 目標値	
売上高	506億円	<b>557億円</b>	570億円	△ +10.0%、CAGR 3.2%、過去最高
営業利益	26億円	<b>38億円</b>	40億円	○ +46.4%、未達も大幅増加、過去最高
営業利益率	5.2%	<b>6.9%</b>	7.0%	○ 未達も大幅増加
ROE	8.0%	<b>6.9%</b>	8.0%	△ 税金費用増加により未達
ROIC	4.6%	<b>5.1%</b>	7.0%	△ 戦略的投資により未達
DOE	1.7%	<b>2.8%</b>	—	○ 大きく上昇、3%を目安に拡充
1株あたり配当金	年間30円	<b>年間60円</b>	—	○ 大幅増加、配当方針変更
PBR	0.47倍	<b>0.74倍</b>	—	△ 上昇も1倍未滿
期末株価	830円	<b>1,553円</b>	—	○ 大きく上昇
為替(USD)	132円	<b>150円</b>	132円	円安進行

## 2025年度 業績サマリー(セグメント別)

- **化学品事業の収益性改善**が大きく前進、化粧品事業は新工場建設や人材投資など**戦略的投資**を優先

		2022年度 実績	2025年度 実績	INNOVATION25 目標値	
化学品事業	売上高*1	373億円	<b>404億円</b>	400億円	○ +8.7%、CAGR 2.7%、目標達成、過去最高
	営業利益*1	9億円	<b>27億円</b>	20億円	○ 約3倍、目標達成、過去最高
	営業利益率	2.4%	<b>6.8%</b>	5.0%	○ 大きく上昇、目標達成
	ROIC*2	2.0%	<b>6.1%</b>	5.0%	○ 大きく上昇、目標達成
	EHD*3売上高比率	37%	<b>45%</b>	50%	△ 未達も大きく上昇
化粧品事業	売上高	132億円	<b>152億円</b>	170億円	△ +15.0%、CAGR 4.8%、未達も過去最高
	営業利益	17億円	<b>11億円</b>	20億円	△ -35.8%、戦略的投資を優先
	営業利益率	12.9%	<b>7.2%</b>	11.8%	△ 目標未達
	ROIC	15.3%	<b>3.6%</b>	12.0%	△ 固定資産増加により未達

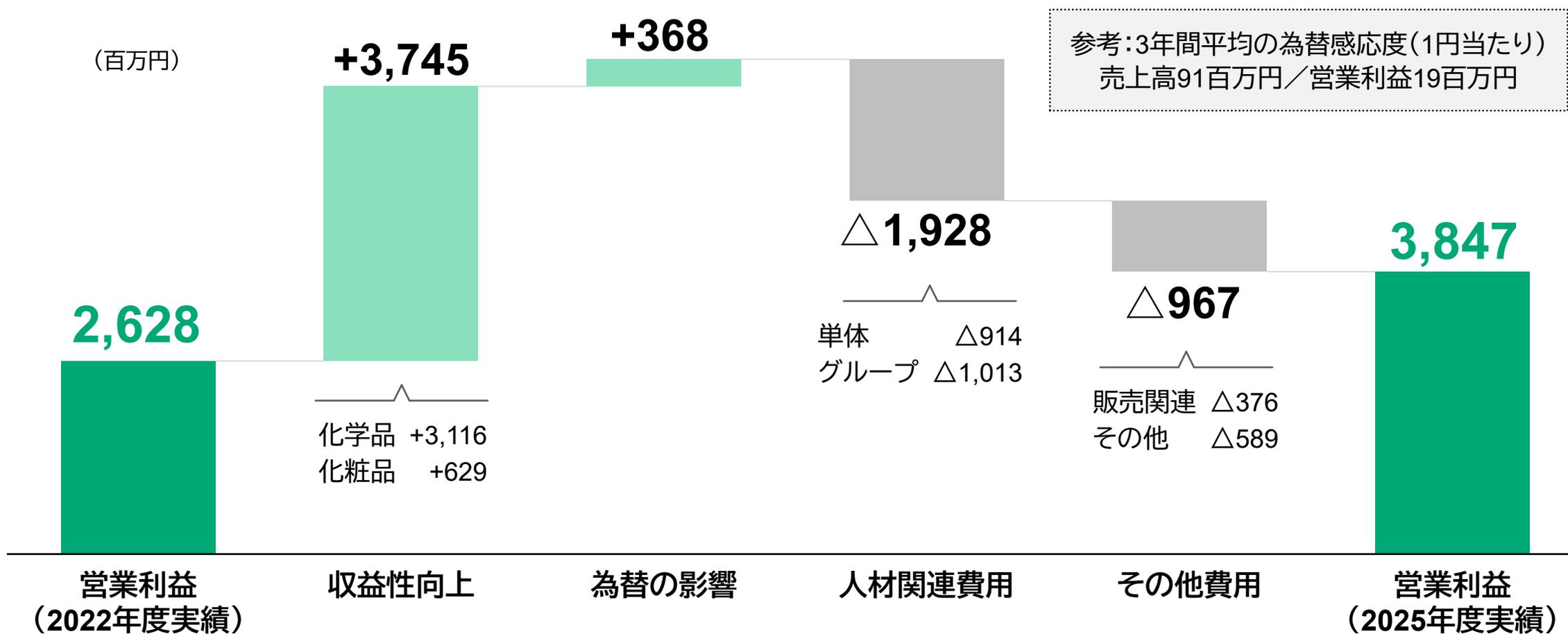
\*1 「化学品セグメント」に「その他セグメント」を含め、「消去及び全社セグメント」は化学品・化粧品の各セグメントに配賦して表記

\*2 ROICは運転資金及び固定資産等の情報を元にした当社試算値

\*3 EHD=Environment/Health/Digital、2019年以降推進している化学品事業の収益性改善に向けた基本戦略の当社指標

## 2025年度 営業利益(対2022年度)

- 海外を中心とした販売増加に加えて、事業構造の転換により**収益性が大きく向上**
- 化粧品国内、化学品海外を中心に**人材への投資**を実施、各種コストアップもあったが営業利益は大きく成長



## 前中期経営計画の振り返り

- 想定外の状況乗り越え、**ピンチをチャンス**に変えて力強く成長
- **大きな夢と目標**を掲げ、企業としてのステージを上げてきた

### 長期ビジョン2016

2010年11月17日公表  
2014年3月4日改訂

- リーマンショック後の厳しい時期に策定
- 長期目線で大きなビジョンを設定

**売上高500億円**

(2018年達成)

**東証一部上場**

(2016年達成)

**新研究所設立**

(2017年達成)

### INNOVATION25

2017年2月10日公表  
2021年2月26日改訂  
2023年2月10日改訂

- 「EHD集中戦略」を大方針に
- 「中長期グループ成長シナリオ」を発表
- 「配当方針」を変更

#### 想定外の逆風も 果敢にチャレンジ

- コロナショック
- トランプ関税
- 建設費高騰
- 人件費上昇
- 為替乱高下
- 各国政変
- 地域紛争激化

- ①事業構造の大転換 **EHD売上高比率大幅UP**  
・37%→45% (化学品事業/22年比)
- ②メリハリのある投資 **化粧品新工場投資決定**  
・大規模成長投資補助金採択
- ③生産性改革 **1人当たり営業利益大幅UP**  
・1.4倍 (全社/22年比)
- ④サステナブル経営の推進 **売上当たりCO2削減**  
・10%減 (全社/22年比/24年実績ベース/Scope1-2)
- ⑤大家族主義の進化 **報酬制度改革**  
・初任給、社員報酬UP、従業員向けRS制度導入

02

新中期経営計画  
「INNOVATION30」

## 新中期経営計画の位置づけ

- **事業拡大**と成長投資による**EBITDAの増大**を目指す5年間
- 「中長期グループ成長シナリオ」の目指したい姿(2035年)の売上高を880億円に引き上げ
- 「INNOVATION30」は、中長期グループ成長シナリオの前半フェーズと位置づけ



# 市場環境認識

## マクロ環境

- 環境規制強化、資源制約、地政学リスクの常態化により**サステナブル対応**が産業競争力に直結
- 健康寿命の延伸に加え、未知のウイルスによる脅威など人々の**快適な暮らし**に対する意識が拡大
- **AI・デジタル技術の急速な発展**により、あらゆる産業で工程革新が加速



当社技術力による**社会課題解決の機会**が増加  
引き続き**EHD集中戦略**により新たな付加価値を提供

# 新中期経営計画「INNOVATION30」(2026～2030年) 戦略骨子

## パーパス

Activate Your Life

## ビジョン

世界中のお客様から  
最も信頼される  
イノベーションカンパニー

## 基本戦略

「INNOVATION30」  
3大戦略

- ① 事業拡大と成長投資
- ② 財務・資本戦略の強化
- ③ サステナビリティ経営

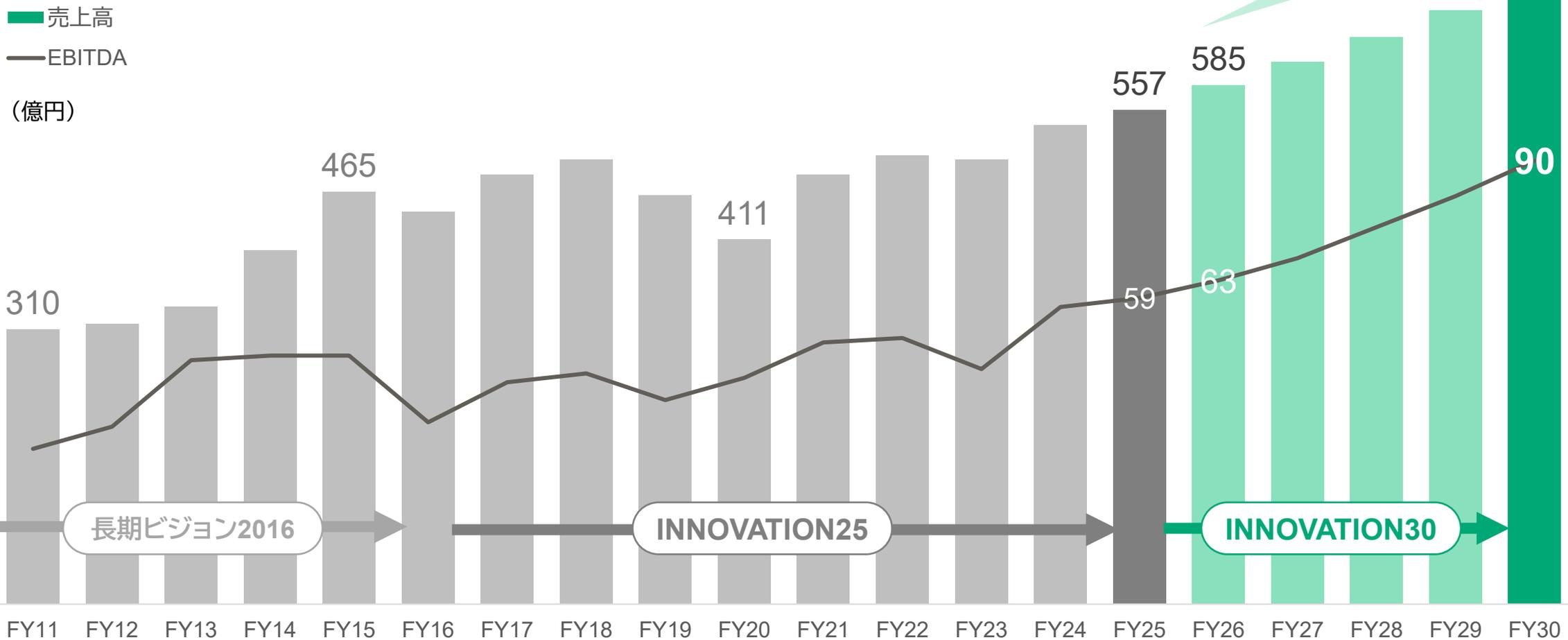
化粧品事業の拡大、化学品EHD領域への傾注

バランスのよいキャッシュフローアロケーションの実行

経営基盤の強化、エンゲージメント向上、CO<sub>2</sub>削減

## 更なる成長へチャレンジ

- ・オーガニックグロースを中心に**これまでに無い飛躍的な成長**を目指す
- ・成長投資により**EBITDAの増大**を同時に実行



# 新中期経営計画「INNOVATION30」(2026～2030年) 目標指標

- EBITDAを重点指標とし、「稼ぐ力」をより成長させる

	2025年実績	INNOVATION30 2030年目標	
売上高	557億円	700億円	化粧品、化学品ともに成長
営業利益	38億円	56億円	高付加価値事業へ傾注
営業利益率	6.9%	8.0%	安定的に8%以上へ
EBITDA	59億円	90億円	「稼ぐ力」を成長させる
EBITDA率	10.7%	12.8%	ROS以上の成長
ROE	6.9%	8.0%	株主資本コスト*1を安定的に上回る
ROIC	5.1%	6.0%	WACC*1を安定的に上回る
PBR	0.74倍	1.0倍以上	早期達成を目指す
DOE	2.8%	3.0%以上	3%以上かつ継続的に向上を検討

\*1 当社の株主資本コストは約8%、WACCは約6%と推定

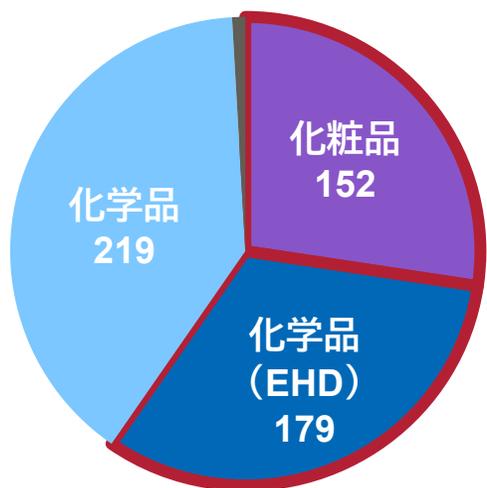
\*2 想定為替レート(USD):150円 想定国産ナフサ価格:65,600円/KL

# 「INNOVATION30」 基本戦略① 事業拡大と成長投資

# 事業ポートフォリオの大転換

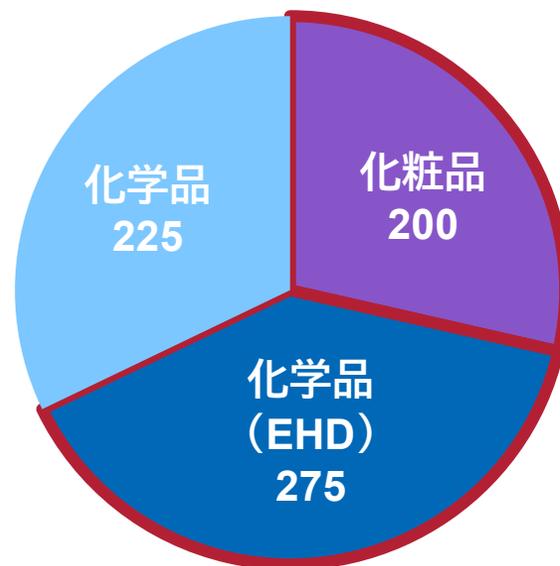
- 化粧品事業と化学品EHD領域の比率を大幅に高めていく

2025年実績



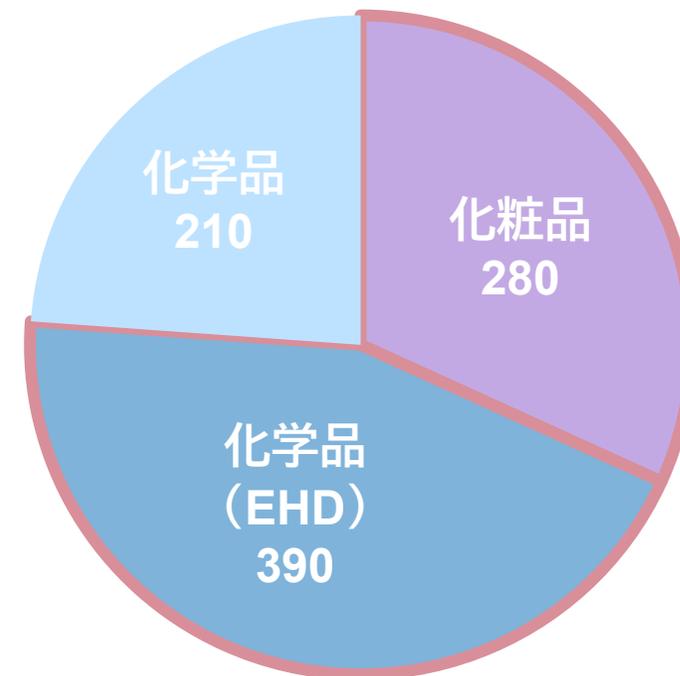
売上高**557**億円  
化学品EHD比率45%

「INNOVATION30」目標値  
(2030年)



売上高**700**億円  
化学品EHD比率55%

目指したい姿  
(2035年)



売上高**880**億円  
化学品EHD比率65%

# 化粧品事業(概要)

- ・絹を綺麗に洗う・ウールを痛めずに染める技術を毛髪に応用(1981年～)
- ・研究開発型企业として、業界で確固たる地位を確立

01

DEMI

ErOL

## 美容室専売品 (2つの自社ブランド)

\*グループ会社:イーラル(株)

### 施術品

美容師さんが施術で使う業務用の商品



- ・ヘアケア剤
- ・スカルプケア剤
- ・スタイリング剤
- ・カラー剤 ・パーマ剤 など

### 店販品

美容室で来客者に販売する商品



- ・ヘアケア剤
- ・スカルプケア剤
- ・スタイリング剤 など

02

## ODM

\*グループ会社:山田製薬(株)

相手先ブランドの  
受託開発・受託生産

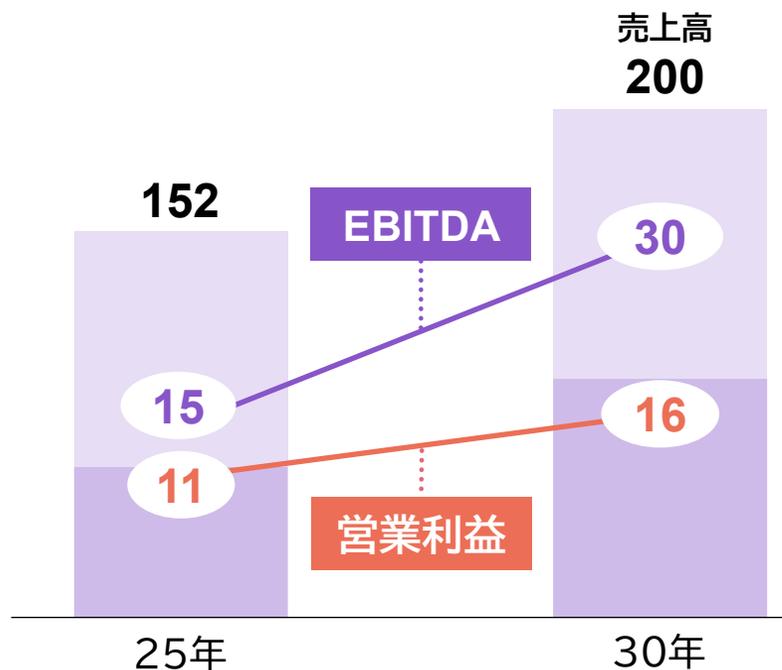


# 化粧品事業(基本戦略)

- 「国内サロン事業シェア拡大+マルチブランド強化+多国化」×「新工場」で**稼ぐ力(EBITDA)**を飛躍的に高める

## 売上高・EBITDA

(億円) 国内サロン事業 マルチブランド他  
営業利益 EBITDA



売上高CAGR 5.6%  
EBITDA率 9.9% → 15.0%

## 具体的戦略

### 国内サロン事業シェア拡大

- 営業力と主力ブランドの強化で有力サロンへの浸透力を高める
  - 営業増員×デジタルプロモーション
  - 「業界評価が高い当社技術力」に加え「顧客視点開発」を強化

### マルチブランド強化

- 消費者がヘアケア製品を手にする**全てのチャンネルに日華の技術**を
  - 市場変化に合わせた価格帯対応
  - パブリック向けODM市場での新規大型案件獲得

### 多国化(海外強化)

- 東南アジア主要国への展開を加速

### 新工場稼働

- 外注バランス最適化+生産効率向上→**コスト競争力改善**

# 化粧品事業(新工場)

- ・2027年稼働に向けて予定通り進捗

## ■ 化粧品新工場 概要

- ・製造キャパシティ**3倍**
- ・自動化による人時生産性**1.5倍**
- ・CO<sub>2</sub>排出削減など**環境対応工場**



本格稼働	2027年	投資規模	約195億円
建設予定地	福井県福井市稲津町・荒木新保町(北陸道福井ICより0.5km)	補助金上限額	49億 9,991万円(補助率1/3)
面積	土地/39,772㎡ 建物/23,000㎡(延床面積)	資金調達	総額140億円のシンジケートローン

# 化学品事業(概要)

・目には見えないけれど、あなたの毎日を支える技術で、国内シェアNO.1・世界トップクラスの製品を多数展開

01

## 繊維 関連の化学品

### 工程薬剤

洗う・染める工程等で使用する薬剤



SMART  
DYEING  
PROCESS

- ✓ 環境負荷低減(節水・省エネ)
- ✓ 生産効率向上(時短)
- ✓ 作業環境改善 に貢献

### 仕上げ剤

付加価値を加える薬剤



撥水剤・消臭剤



防炎剤・抗菌剤



防汚剤・難燃剤 など

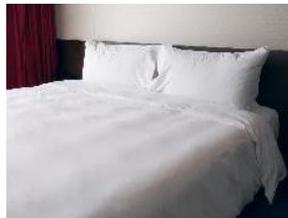
02

## クリーニング・医療 関連の化学品

### クリーニング用薬剤



### ホテルリネン用薬剤



手術器具の洗浄剤 など

03

## スペシャリティケミカル

\*グループ会社:大智化学産業(株)

### 半導体用薬剤



### 新聞紙等の脱墨剤



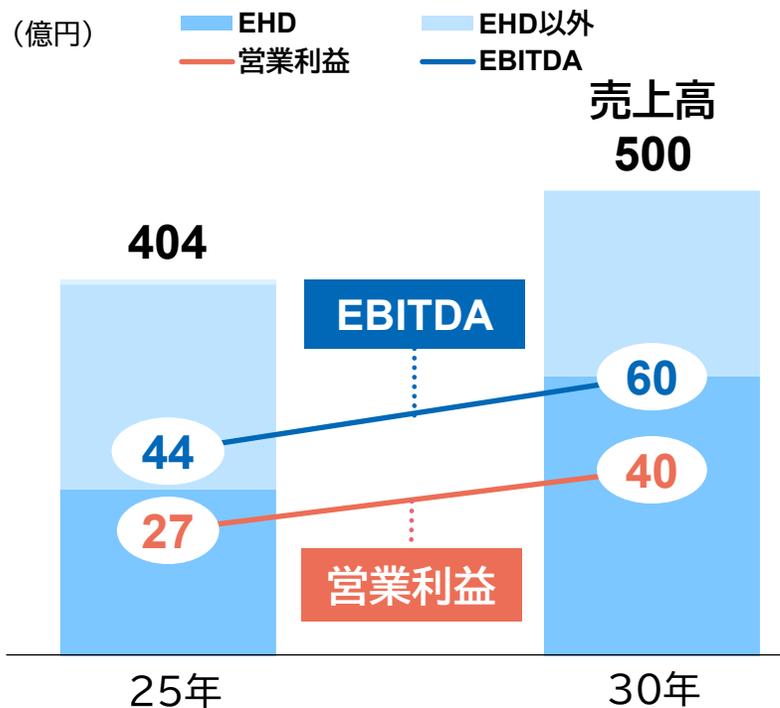
感熱紙用薬剤 など

※青枠の事業・製品 = 国内シェアNO.1または世界トップクラスの製品

# 化学品事業(基本戦略)

- **EHD集中戦略**、事業構造を転換しつつ新たな市場への展開を図る

## 売上高・EBITDA



売上高CAGR	4.3%
営業利益率	6.8% → 8.0%
EHD*売上高比率	45% → 55%

## 具体的戦略

### EHD集中戦略

- **環境配慮型製品**やリサイクル事業関連製品で、「E領域」の更なる展開
- 非テキスタイル事業拡大で**スペシャリティケミカルメーカー**としての地位を高める
  - 技術力と顧客基盤を活用し、中長期目線の開発テーマを拡充
  - 半導体周辺分野をはじめ、「D領域」での存在感を高める活動に注力

### グローバル展開

- テキスタイル事業は**南西アジア**へのシフトを加速
- スペシャリティ事業は国内での実績を**グループシナジー**で中国をはじめ海外へ
  - 「D領域」は東アジアに注力

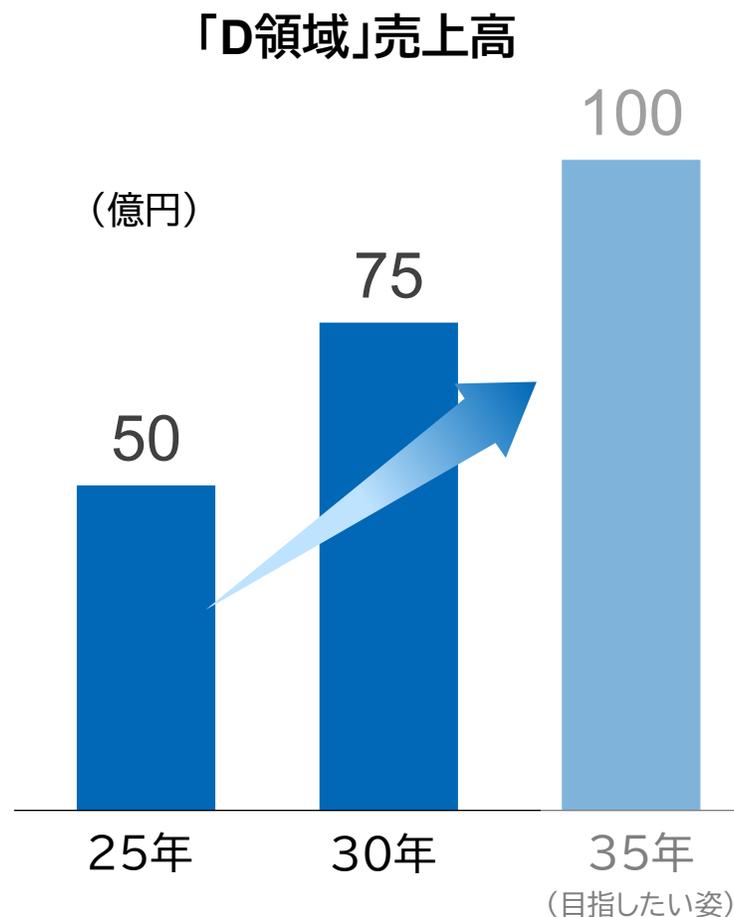
### 収益性

- **EHD集中戦略**による収益性改革(EHD製品利益率/従来製品比 +11% ※当社調べ)
- 継続的な原料コストダウンの実施

\* EHD = Environment/Health/Digital、2019年以降推進している化学品事業の収益性改善に向けた基本戦略の当社指標

## 化学品事業(デジタル・先端材料領域)

- AI需要の急速な増加等を背景に、**半導体市場は中長期で大きく成長**
- 半導体製造プロセス(切る、削る、磨く、洗う)に対して、当社技術力により**新たな付加価値を提供**



【主力製品】半導体シリコンウェーハ用水溶性クーラント剤  
～トップシェア、オンリーワンの資源循環型ビジネス～



### 環境にやさしい水溶性

従来は油系のクーラント剤が主流  
世の中の環境意識が高まるずっと前より、  
環境負荷を抑えた水溶性を開発(1990年代～)



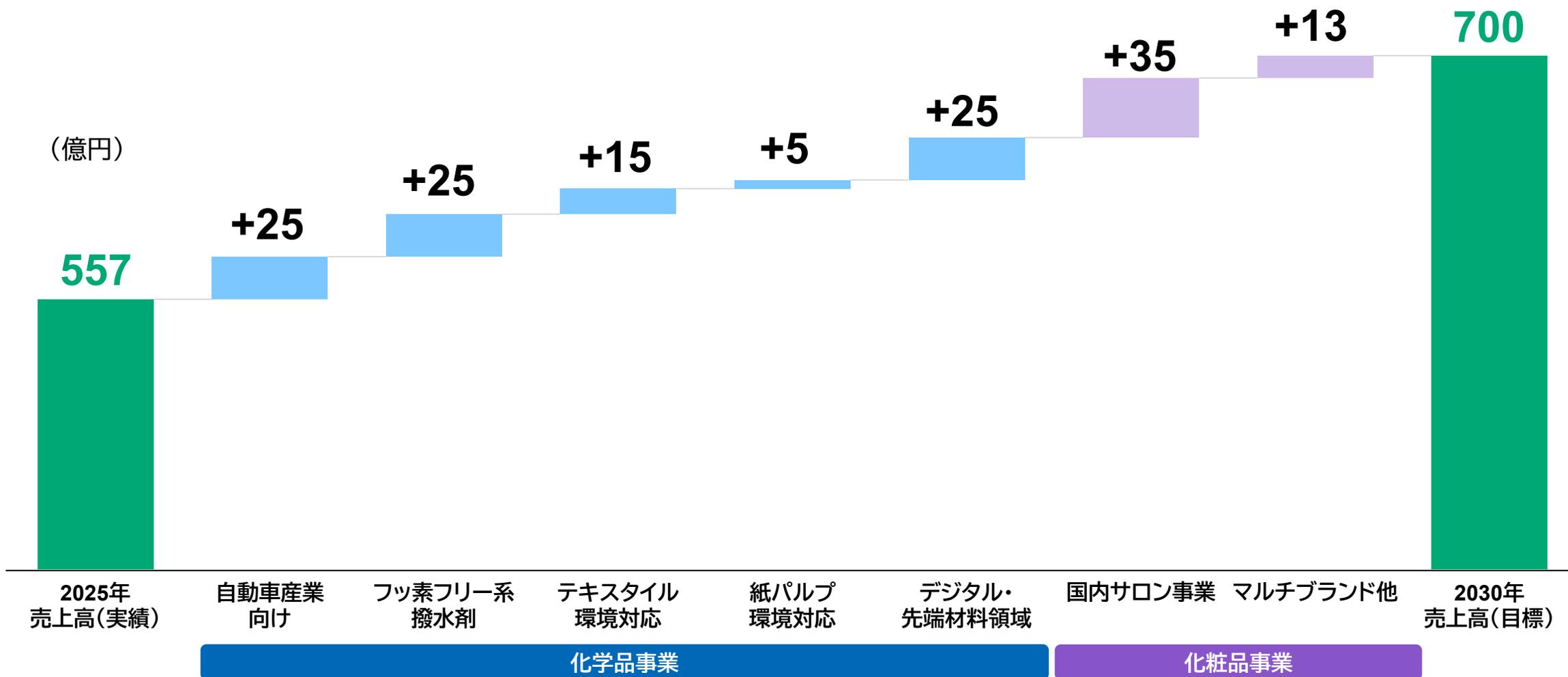
### 資源循環型ビジネス

顧客から使用済みの廃液を回収  
リサイクル(蒸留再生)し、販売を行っている  
➡ ゼロエミッション達成に貢献  
➡ CO2 排出量を削減



# 売上高700億円に向けて

- 化学品事業: EHD集中戦略を加速、特に環境、デジタル・先端材料領域での新たな市場獲得へ
- 化粧品事業: 国内サロン事業のシェアアップに加え、ODM事業や海外での事業拡大へ



# イノベーション企業に向けて

## 未来の社会に**当社技術が貢献**するイメージ

※当社技術が社会に貢献する一例を記載



「天然由来原料」  
環境配慮型原料への転換



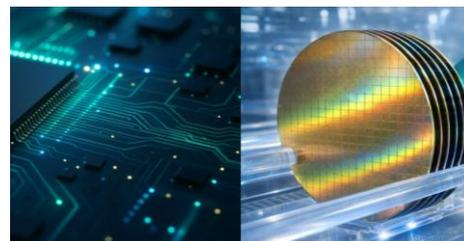
「頭髪用化粧品」  
全ての人に美と健康を



「先進的な自動車材料」  
未来型車両への技術展開



「デジタル領域向け新技術」  
技術力で顧客価値を提供



「半導体産業向け製品」  
ゼロエミッションに貢献



「環境に貢献する新技術」  
無水・低炭素・有害物資除去など



「アップサイクル技術」  
創造的再利用で環境貢献



「環境にやさしい撥水剤」  
健康で快適な生活を



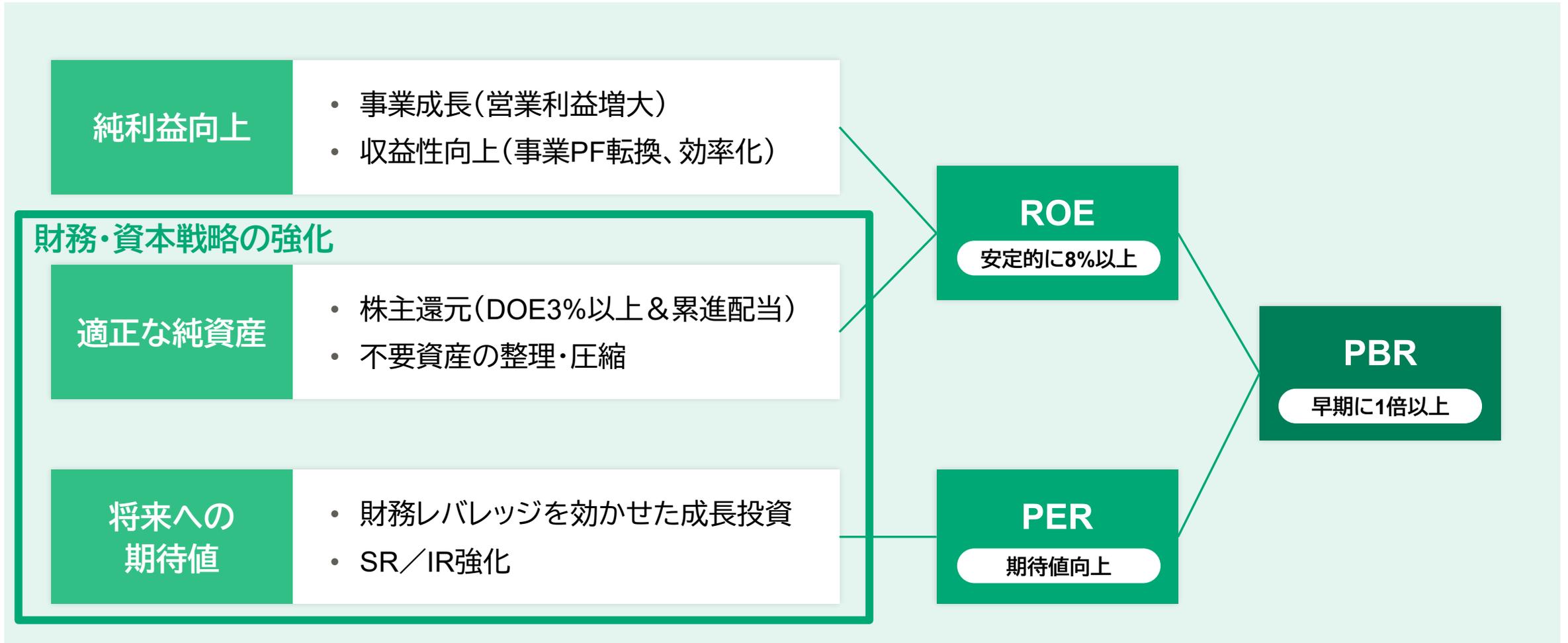
「紙パルプ環境負荷低減」  
3R社会への貢献

# 「INNOVATION30」 基本戦略②

## 財務・資本戦略の強化

# 企業価値向上に向けて

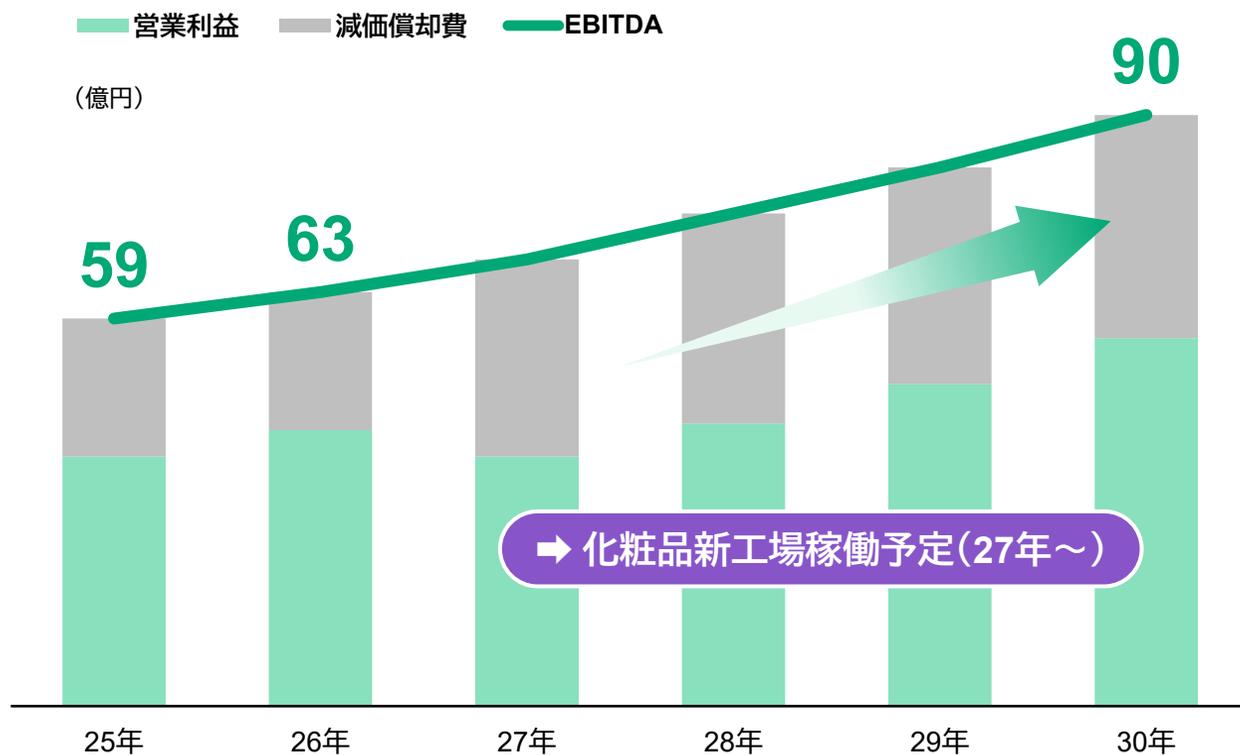
- **PBR1倍**の早期実現に向けて、「グループ成長シナリオ」の基本方針に従って取組みを強化



# キャッシュ創出力の最大化

- 積極的な**成長投資**により、EBITDAを大きく成長させる
- 償却負担アップにより数年間は営業利益の伸率鈍化を予想

連結EBITDA\*の成長イメージ



\* 営業利益 + 減価償却費 (一時費用を除く)

## 主な投資案件(～2030年)

- 化粧品新工場※ ..... 約**195**億円  
(大規模成長投資補助金含まず)
- バングラ保税倉庫※ ..... 約**10**億円
- 新ERPシステム※ ..... 約**10**億円
- 定常投資 ..... 約**70**億円



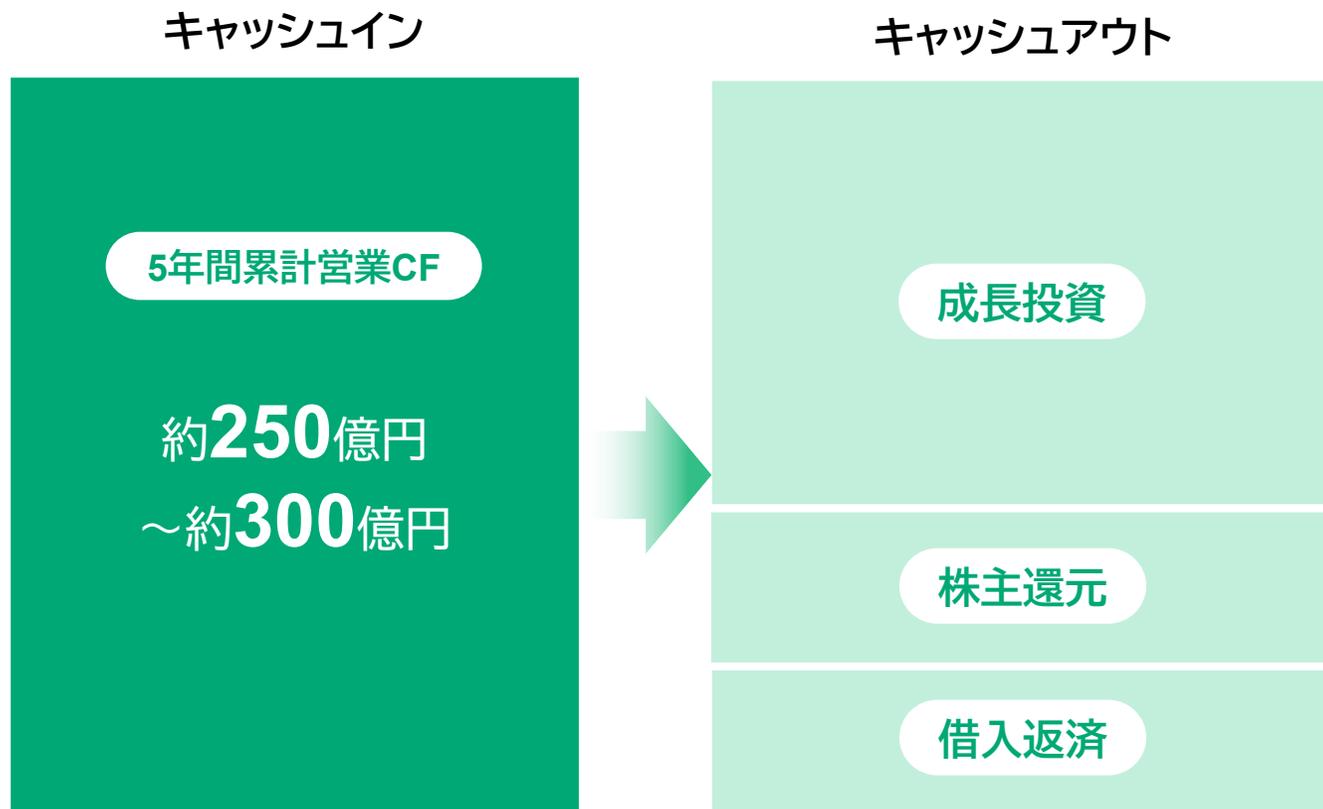
新たな成長投資を継続的に検討

※2027年稼働予定

## キャッシュフローアロケーション

- 足元は化粧品新工場資金を中心として借入を行い、**財務レバレッジを効かせた成長投資**を行う
- EBITDAを中心とした営業CFを**バランスよく活用**し、企業価値向上を目指す

### 2026年～2030年(5年間)の資金使途イメージ



- **成長投資**を積極的に実施
- 定常投資は環境改善と効率化を意識
- 化粧品新工場は借入により資金調達
- **DOE3%** + 累進配当、継続的な向上へ
- 調達余力を確保しつつ、着実に返済
- DEレシオを意識した資金マネジメント

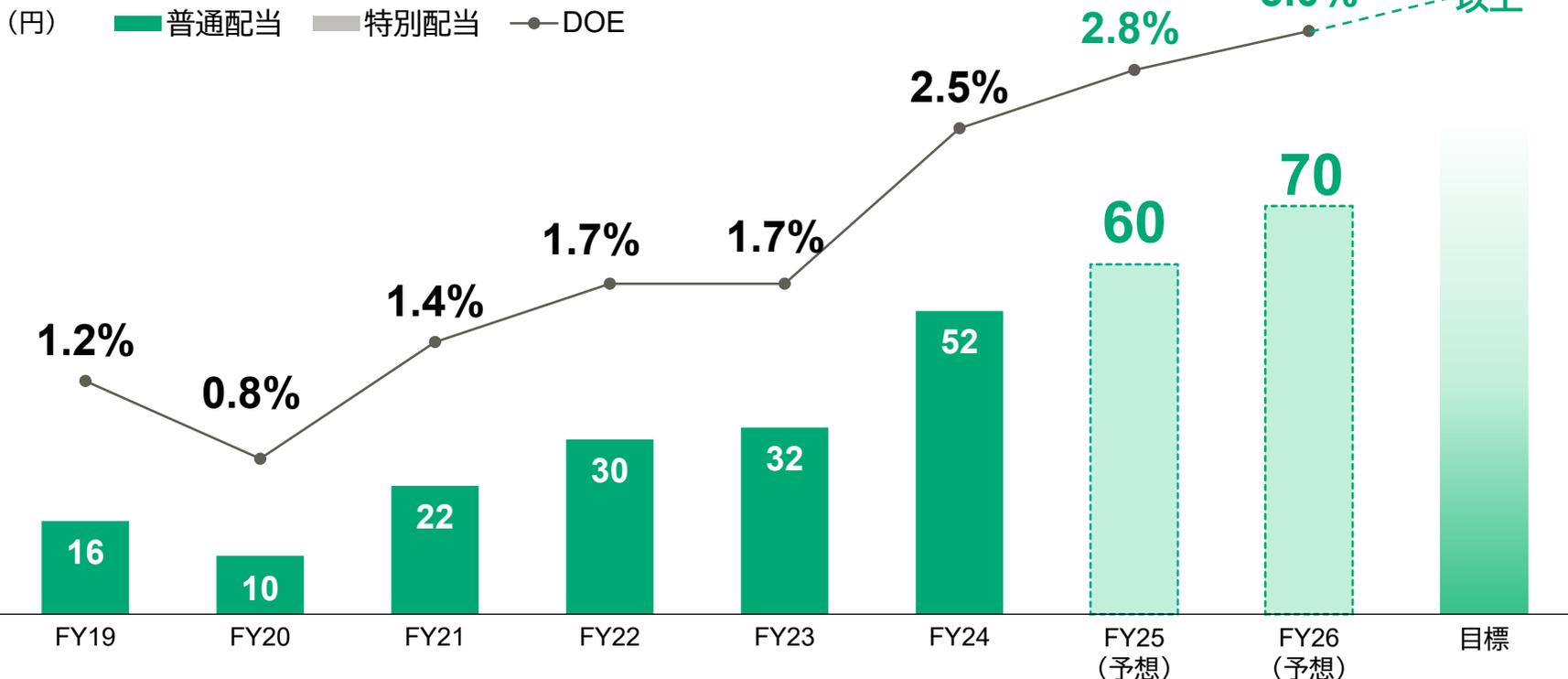
# 株主還元方針

## 配当方針

(2026年2月13日更新)

- 年間配当において、**DOE3.0%**を目安として拡充し、その後もDOE向上を継続して検討
- 年間配当において、利益成長を通じたより安定的な配当(維持・増配)である**累進配当**を導入

## 配当状況



## 配当利回り

(株主優待含む/500株保有の場合)

# 4.51%

※2025/12/30時点

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社の事業に対するご理解をより深めていただくことを目的に、株主優待制度を導入いたしております。



\*2025年12月期年間配当金のうち期末配当30円については2026年3月26日開催の定時株主総会で決議予定

# 「INNOVATION30」 基本戦略③ サステナビリティ経営

## 持続可能な社会に向けて

- ・人と社会を**アクティベート**することが日華化学の存在意義

### パーパス

輝け、カガクで。

# Activate Your Life

長年培ってきた「界面カガク」を通じて、人と社会をアクティベートするという決意が込められています。環境、健康、持続可能性など、社会が直面する様々な課題に対し、私たちの技術と挑戦する力で解決策を提供していく。それこそが、日華化学の存在意義です。

### マテリアリティ(重要課題)

#### 環境

地球環境を  
もっときれいに

#### くらし

人々のくらし  
と生活を快適に

#### 社会

社会を  
より豊かに

- ・ グループ全体のCO2実質排出量削減
- ・ EHD事業による社会課題を解決する事業活動
- ・ 仕事を通じた社会貢献活動の推進 など

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 経営基盤の強化

- 全グループ社員の仕事のやりがいと**社員エンゲージメントの向上**へ
- 急速に発展する**デジタルツールを積極的に活用**し企業の競争力を高める

### 社員エンゲージメント向上



- 人事制度の継続的なアップデート
- 健康経営の推進

### AIの積極活用



- AIエージェントによる業務効率化
- デジタル領域へのビジネス展開

### 新ERPシステム導入



- 2027年～稼働予定
- 以降グローバルに展開予定

# 社員エンゲージメントの向上

- ・グローバル**全社員がワクワク・生き生き**と働ける環境を整え、イノベーションが巻き起こる企業へ

## 職場環境



- ・フレキシブルに働ける「フレックスタイム制度」
- ・仕事とライフプランの両立
- ・社員寮「ヴィラージュニッカ」
- ・イノベーションにつながる「Happy Work Place」

## NICCA健康経営宣言



- ・健康経営優良法人2025（大規模法人部門）認定
- ・健康経営目標の刷新を計画
- ・ふくい健康づくり実践事業所に認定
- ・社内研修や風土づくりの社内セミナー実施

## その他の取り組み

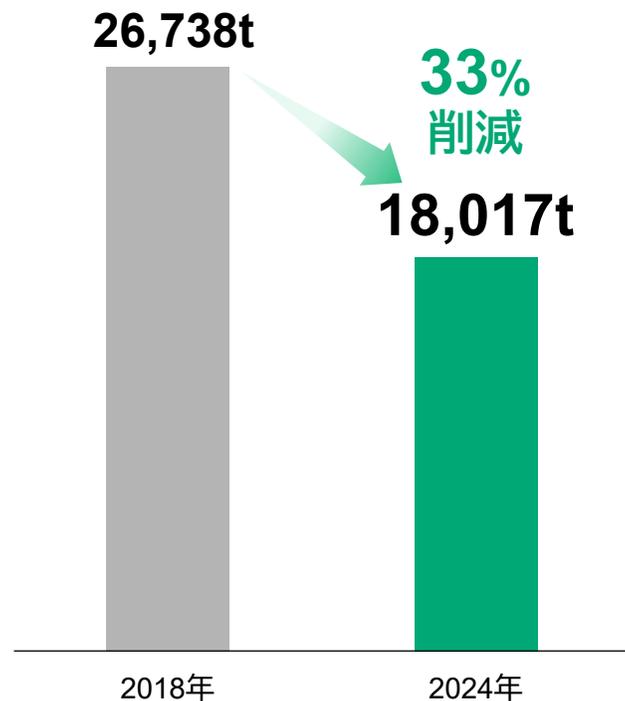


- ・ブラザーシスター制度
- ・自己啓発支援制度
- ・社員持株会制度
- ・ファミリーデーの実施
- ・社員研修旅行 など

# カーボンニュートラル社会の実現に向けて

- 2030年までにグループ全体のCO2実質排出量を**2018年比 30%削減**へ
- 2050年の**カーボンニュートラル社会**の実現に向けて継続的に活動

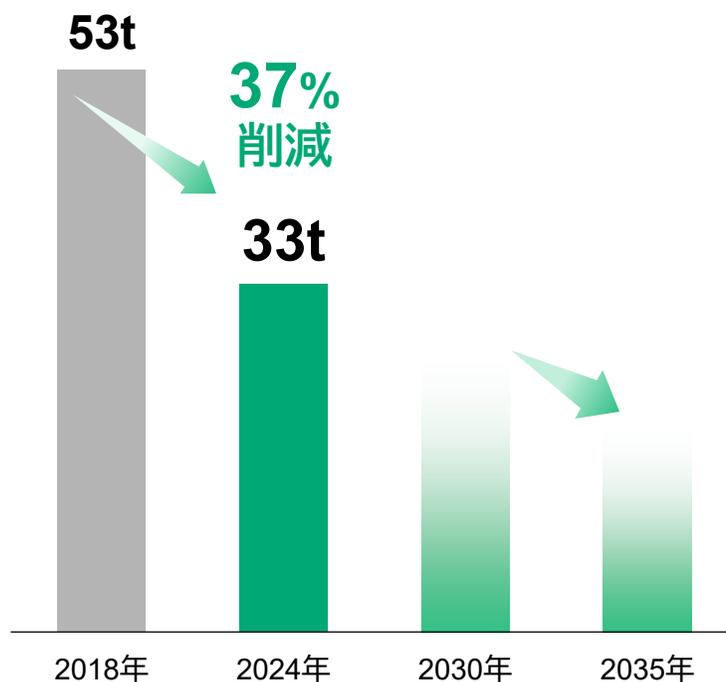
## グループCO<sub>2</sub>総排出量



算定範囲: Scope1,2

## 原単位での削減イメージ

(売上高1億円あたり)



## 主な取り組み

- 2021年、福井県内事業所で**再生可能エネルギー100%**由来の電力利用に切り替え
- 2023年、鯖江工場に**LNG**導入
- 石油由来から**植物由来原料**へのシフト
- 化粧品新工場での**環境対応** (太陽光発電の導入など)
- グループ会社での**再生可能エネルギー由来電力**への切替

# 事業活動による環境貢献

- 持続可能な社会の実現に向けて、**事業活動を通じた取り組み**を積極的に推進

## ”Smart Dyeing Process”



工程削減・短縮、排水の公害値低減などをねらった、  
サステナブルな染色加工の実現を目指したソリューションの総称

### Energy Smart



エネルギー消費・  
CO2排出の削減

### Water Smart



節水  
排水負荷低減

### Work Smart



作業環境改善

## “ネオクロマト加工®”

水を使わずに、ポリエステル繊維を脱色する独自技術  
令和6年度近畿地方発明表彰「近畿経済産業局長賞」を受賞



## その他 取り組み

- 山田製薬(株)が環境省の「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」に参画
- 大智化学産業(株)が「カーボンフットプリント検証の取り組み」について記事掲載
- NICCA イノベーションセンターが「国土交通省 サステナブル建築等先導事業(省CO2先導型)」に採択
- 鯖江工場が環境省の「SHIFT補助事業」に採択
- CDP「気候変動レポート2023」において「B」スコア獲得

お客様との対話、社員との強い絆を成長の原動力に  
当社の技術で豊かな暮らしや輝く未来に貢献していきたい

代表取締役 社長執行役員 CEO  
江守 康昌

Activate Your Life

輝け、カガクで。

輝け、カガクで。

Activate Your Life

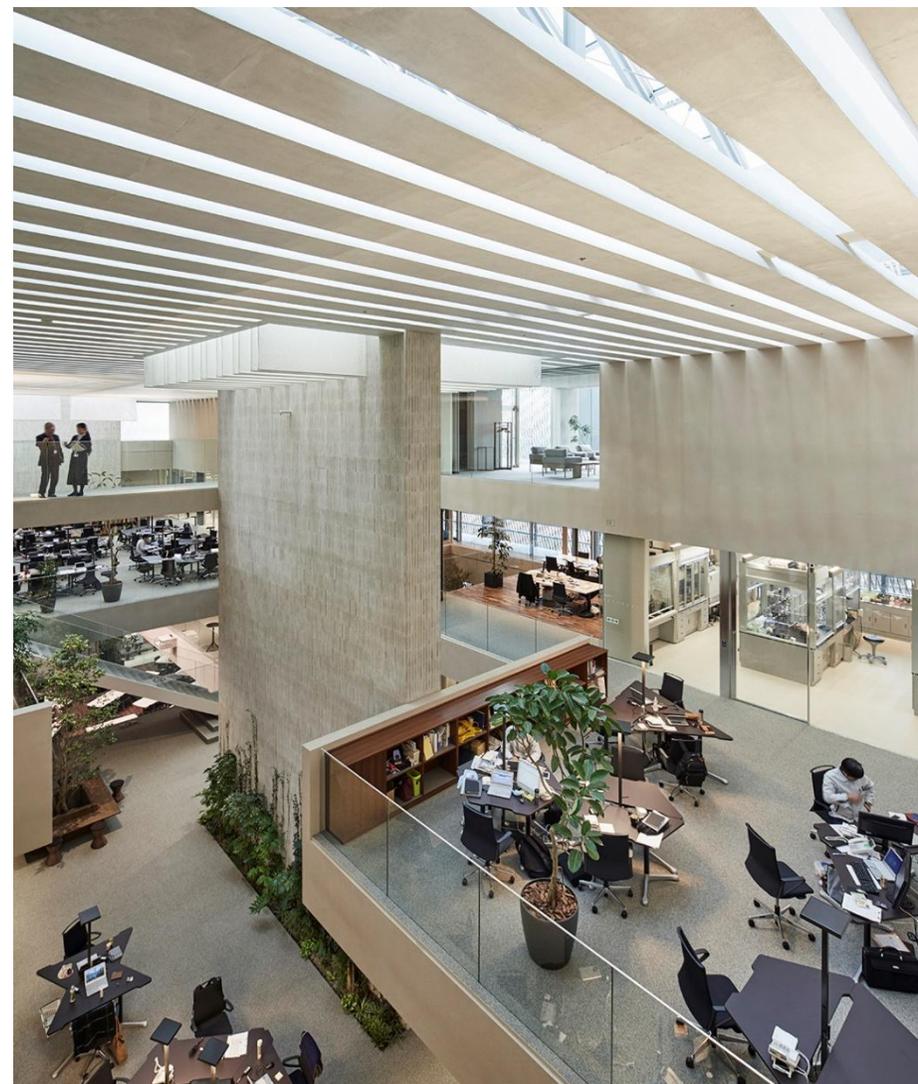
 日華化学株式会社

03

# Appendix

# 会社概要

商号	日華化学株式会社(証券コード 4463)
本社	福井県福井市文京4丁目23-1
創立	1941(昭和16)年9月15日
資本金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決算期	12月31日
従業員数	連結／1,576名 単体／628名(2025年12月31日現在)
事業内容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤 および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア



# 数字で知る日華化学

創立(1941年9月15日)

84年

SINCE 1941

本社/福井県福井市

売上高(2025年12月期)

557億円



前期比/3.0%UP

営業利益(2025年12月期)

38億円



前期比/9.3%UP

共同研究機関数  
(2024年12月末時点)

43機関



グローバル

従業員数(2025年末時点)

1,576名



単体/628名

海外拠点数(2025年末時点)

9つの国と地域



15拠点

工場・研究所含む

海外売上高比率  
(2025年12月期)

48%



グローバル企業

配当+株主優待利回り  
(2025年末時点)

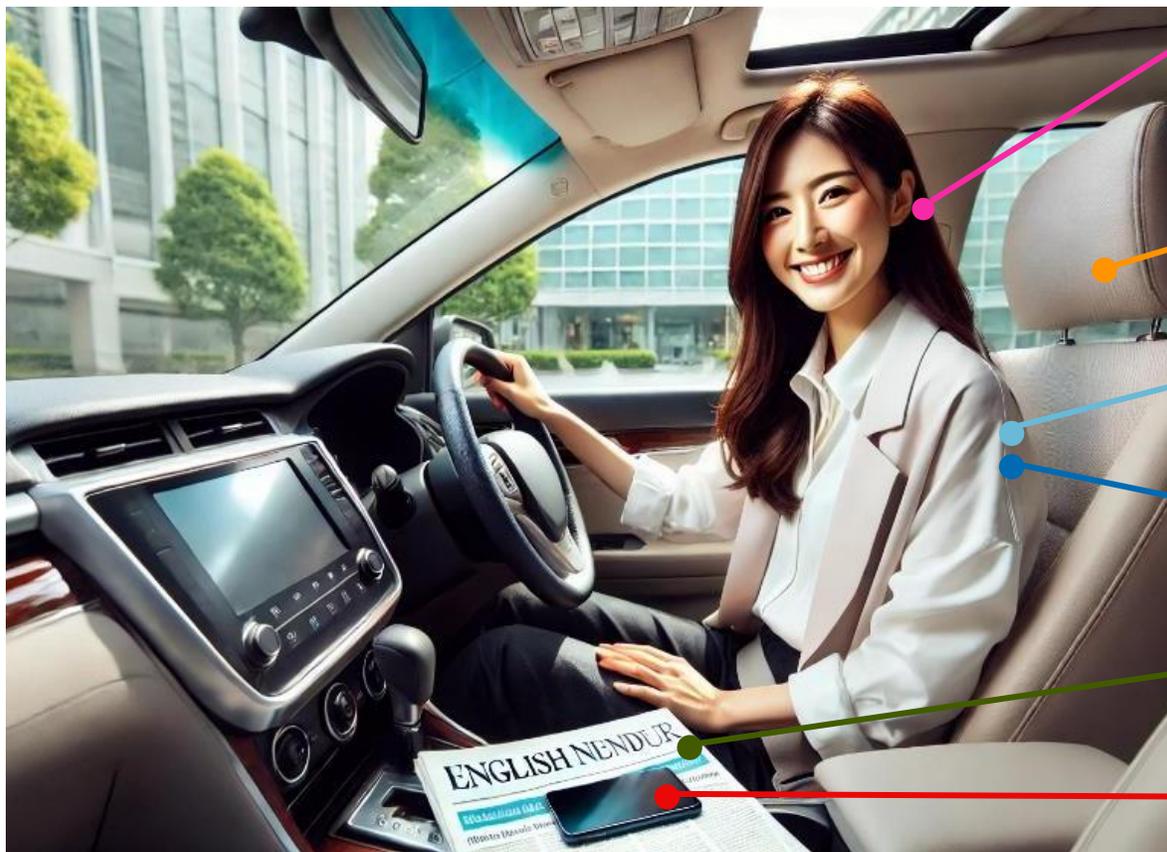
4.51%



500株保有の場合



## \ココにもソコにも！/ 実は身近な**日華化学**の技術！



### 化粧品事業



ヘアケア剤、カラー剤  
スタイリング剤など

### 化学品事業



カーシートの難燃剤・防汚剤など



衣類の撥水剤、  
吸水速乾剤、抗菌消臭剤など



クリーニング用洗剤・柔軟剤など



新聞紙等の脱墨剤など

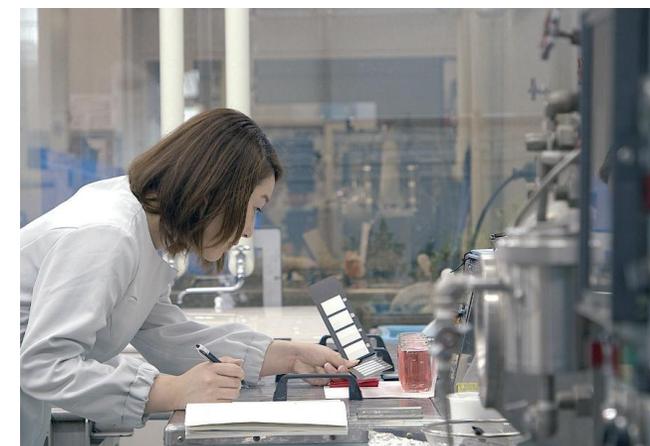


デジタルデバイスの  
潤滑材・防汚剤など

## 企業理念

## 「製品を売るにあらずして技術を売る」

NICCA イノベーションセンター(研究開発拠点)を中心に、  
ビジネスパートナーとの距離を縮め、新しい製品と事業の創出を加速させています

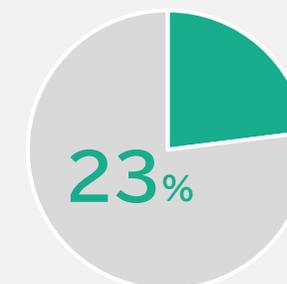


✓ **4人に1人** が、研究開発に従事！

<研究開発人員比率>

当社単体 23%、国内製造業平均\* 8%

\*当社調べ(国内製造業における当社と同規模企業の平均値)



# 日華化学について(グローバル展開)



繊維産業はグローバルの人口増加に合わせて**需要拡大**

**1968年からアジア諸国を中心に積極的なグローバル展開**し、成長する海外市場にいち早く参入

## 海外拠点数

アジアを中心に、  
9つの国と地域に

**15** 拠点

(工場・研究所含む)

## 海外売上高比率

全体売上高の

**48%**

(2025年度実績)



## 【強み・模倣困難ポイント】



×



×



+



現地開発・現地生産・現地販売

各拠点の連携



『顧客現場発イノベーション』を  
海外でも同様に実践

「顧客現場発イノベーション」  
については、こちらよりご覧いただけます

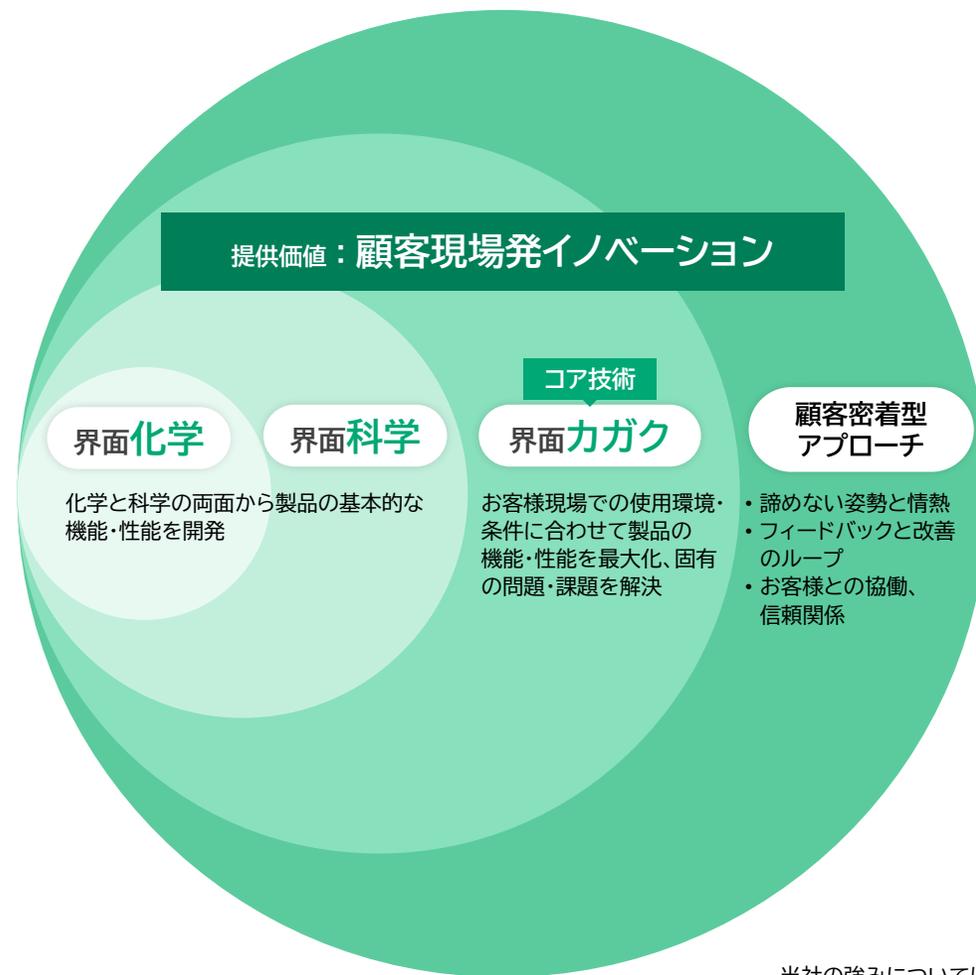


# 日華化学について(強み)

「界面科学」を基盤とした5つのコア技術により、人々の暮らしの“あたりまえ”を支え、アップデートし続けるグローバルネットワークと研究開発に強みを持つ当社だからこそ出来る「顧客現場発イノベーション」を提供



※機能・製品・市場については代表的な一例を記載



当社の強みについては、こちらよりご覧いただけます



## 「髪を科学する」～頭皮と髪健康と美しさを科学で進化させる～

### 【強み】“レシピの開発力”

- ✓ **毛髪科学**による高い研究開発力
- ✓ 国内有数の研究機関・大学との**共同研究**
- ✓ 髪の特化専門家 **美容師との連携**

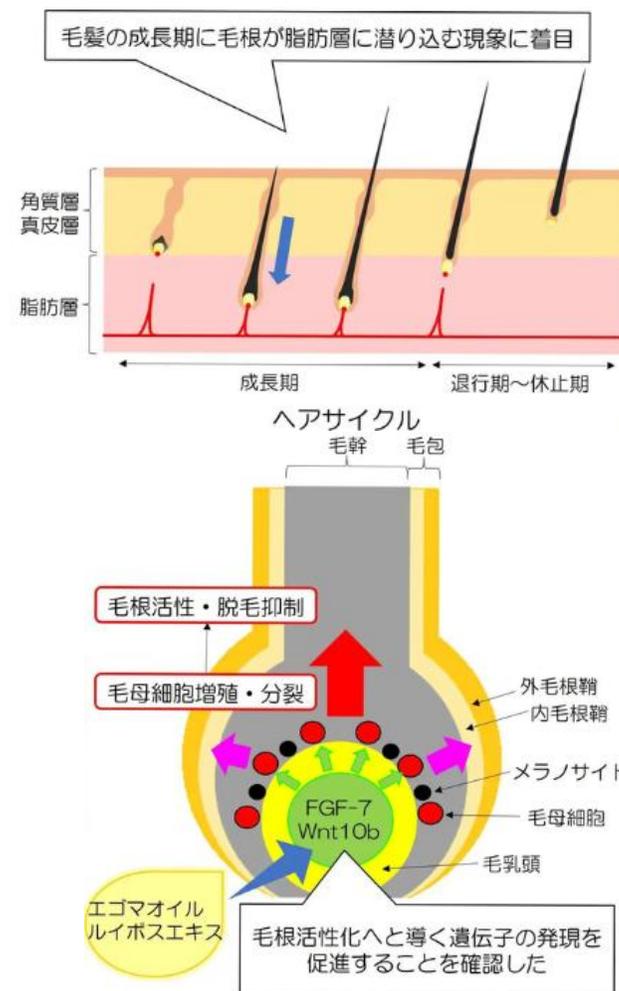


**3,000** 以上のレシピを保有

一人ひとり異なる  
毛髪の悩みに  
応える商品群

豊富なレシピで  
取引先のニーズを  
具現化(ODM)

お客様からの  
高いリピート率



# 日華化学について(化学品事業)

高機能

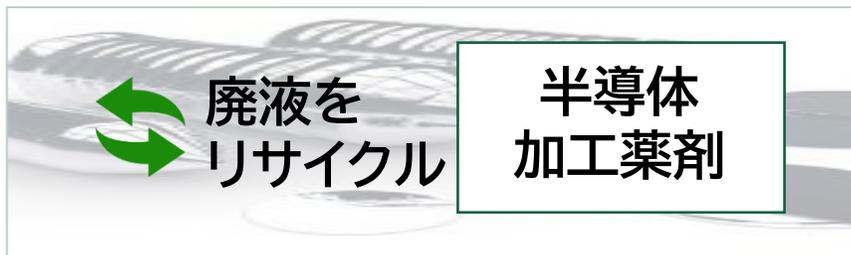
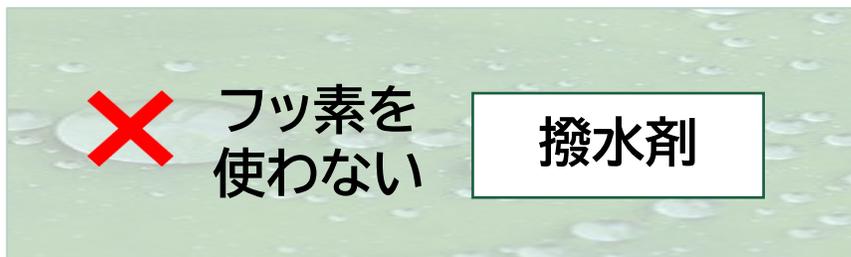


サステナブル

な製品開発で世界をリード

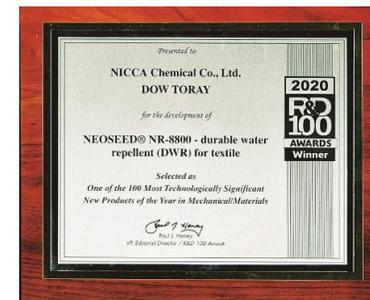
経済産業省「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」にも選出

(製品例)



「2020 R&D100 AWARDS」受賞

R&D  
100  
AWARDS



世界的大手メーカーに多数採用  
(アパレル/自動車/半導体など)



# イノベーション創出(事例紹介)

## ネオクロマト加工



ベンチャー×NICCA (+B/C)  
ポリエステル・アップサイクル+新分野

## フッ素フリー系撥水剤:ネオシード



外資(Dow)×NICCA  
撥水性能と風合いの両立

## バイオマス顕色剤(感熱紙用)



日本製紙×NICCA  
100%木質由来原料の実用化

## Nシールドファブリック他



ニトリ×帝人フロンティア×NICCA  
B to B to C、多機能の実現

## DEMI DO



大手研究機関×NICCA  
高機能スカルプケア(肌×髪)

## 家具用UV硬化型木工塗料



オカムラ×大谷塗料×NICCA  
B to B to C、県産杉材の活用

## 地域貢献活動(事例紹介)

### 1994年～(公財)江守アジア留學生育英会

- アジア諸国から進学または在学する留学生に奨学金を支給
- 延べ364名の奨学生の方がこの制度を活用



### 学生の受け入れ



- 修学旅行や職場体験など「NICCA イノベーションセンター」に学生を受け入れ
- 当社社員とのコミュニケーションやオリジナルシャンプー作りなどを通して働く楽しさを体験
- 200名を超える生徒が来場(2025年実績)

### イーラル(株)による奨学金制度



- 美容学校の生徒を対象とした独自の奨学金制度を設立
- 美容業界の課題解決を目指し、学生をバックアップ

### 福井永平寺ブルーサンダー



- 2023年4月25日発足
- 日本ハンドボールリーグ(JHL)所属
- 『ハンドボールで福井に夢を福井から世界へ』

# 財務データ等推移

(百万円)

項目	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
売上高	44,222	48,493	50,188	46,191	41,179	48,474	50,627	50,169	54,099	55,705
EBITDA のれん償却額反映	3,174	4,056	4,292	3,635	4,187	4,953	5,045	4,308	5,743	5,975
(EBITDA率)	7.2%	8.4%	8.6%	7.9%	10.2%	10.2%	10.0%	8.6%	10.6%	10.7%
減価償却費 のれん償却額含む	1,716	1,940	1,991	2,240	2,771	2,500	2,417	2,269	2,224	2,128
営業利益	1,458	2,116	2,301	1,395	1,416	2,453	2,628	2,039	3,519	3,847
(営業利益率)	3.3%	4.4%	4.6%	3.0%	3.4%	5.1%	5.2%	4.1%	6.5%	6.9%
経常利益	1,588	2,171	2,430	1,334	1,645	2,706	3,132	2,528	3,976	3,849
親会社株主に帰属する当期純利益	346	1,388	2,458	900	1,044	2,595	2,114	1,691	2,754	2,384
1株当り当期純利益(円)	22.09	88.48	156.68	57.33	66.40	164.82	134.08	107.09	174.17	150.28
配当金(円)	20	16	18	16	10	22	30	32	52	60
自己資本比率	33.3%	34.4%	35.6%	36.7%	39.5%	45.9%	49.8%	52.9%	54.0%	47.5%
ROE	2.0%	7.8%	12.6%	4.5%	5.1%	11.3%	8.0%	5.8%	8.6%	6.9%
ROA	2.9%	4.0%	4.1%	2.5%	2.6%	4.4%	4.8%	3.6%	5.9%	5.6%
ROIC	2.9%	4.0%	4.2%	2.4%	2.7%	4.6%	4.6%	3.6%	5.8%	5.1%
DOE	1.8%	1.4%	1.4%	1.2%	0.8%	1.4%	1.7%	1.7%	2.5%	2.8%
研究開発費	2,035	2,065	2,219	2,289	2,019	2,166	2,250	2,296	2,551	2,732
従業員数(人)	1,418	1,472	1,479	1,496	1,500	1,454	1,472	1,500	1,531	1,576

\* 2025年12月期年間配当金のうち期末配当30円については2026年3月26日開催の定時株主総会で決議予定

\*      は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目

# セグメント情報等推移

(百万円)

項目	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期	
売上高	化学品	31,290	35,220	35,502	33,890	28,496	33,773	36,268	35,605	39,378	39,894
	化粧品	12,654	12,494	13,977	11,399	12,175	14,087	13,265	13,977	14,271	15,259
	その他	277	778	708	901	506	612	1,093	586	449	550
セグメント利益	化学品	940	1,887	1,905	1,441	842	1,460	1,861	1,803	3,724	3,948
	化粧品	2,353	2,064	2,285	1,687	2,250	2,794	2,438	2,044	1,822	1,966
	その他	14	69	63	99	43	72	129	64	58	90
	共通	△1,850	△1,905	△1,952	△1,831	△1,720	△1,874	△1,800	△1,871	△2,085	△2,158
営業利益*1	化学品	△155	813	797	441	△146	408	910	744	2,531	2,743
	化粧品	1,613	1,302	1,504	954	1,562	2,045	1,717	1,295	987	1,103
(営業利益率)	化学品	△0.5%	2.3%	2.2%	1.3%	△0.5%	1.2%	2.4%	2.1%	6.4%	6.8%
	化粧品	12.7%	10.4%	10.8%	8.4%	12.8%	14.5%	12.9%	9.3%	6.9%	7.2%
ROIC*2	化学品	△0.4%	2.0%	1.9%	1.0%	△0.4%	1.0%	2.0%	1.6%	5.7%	6.1%
	化粧品	15.1%	10.6%	12.4%	7.7%	13.1%	18.5%	15.3%	10.7%	5.9%	3.6%
EHD売上高比率	化学品	-	-	-	31.4%	36.4%	38.4%	38.4%	42.7%	44.2%	45.1%
期中平均レート	USD	110.29	112.38	110.56	109.37	106.67	109.85	132.70	141.82	151.47	150.42

\*1 「化学品セグメント」に「その他セグメント」を含め、「消去及び全社セグメント」は化学品・化粧品の各セグメントに配賦して表記

\*2 ROICは運転資金及び固定資産等の情報を元にした当社試算値

\* は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目